

論文概要の和文様式

雑誌におけるタイトル: Adverse obstetrical outcomes for women with endometriosis and adenomyosis: A large cohort of the Japan Environment and Children's Study.

和文タイトル: 子宮内膜症および子宮腺筋症により産科合併症が増加する

ユニットセンター(UC)等名: 鳥取UC

サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名: PLoSOne

年: 2019 月: 8 巻: 14 頁: e0220256

筆頭著者名: 原田 省

所属UC名: 鳥取UC

目的:

子宮内膜症と子宮腺筋症は生殖可能な年齢の女性に合併し、月経困難症や不妊症の原因である。不妊治療の生殖補助医療(ART)は、産科合併症を増加させることが知られている。子宮内膜症や子宮腺筋症が産科合併症におよぼす影響を調査することを目的として、ARTの有無を除外した結果から産科合併症のリスクを調査した。

方法:

103,103例の妊産婦から双胎妊娠例を除外し、96,655例を解析対象とした。子宮内膜症の既往歴をもつ女性は3,517例であり、325例は子宮腺筋症の既往があった。子宮内膜症と子宮腺筋症の既往歴は問診票から抽出し、産科合併症は分娩施設で記載された情報を利用した。子宮内膜症と子宮腺筋症の既往歴の有無、不妊治療の有無およびART妊娠であるか否かについて4群に分類し検討した。

結果:

子宮内膜症と子宮腺筋症の既往歴をもつ女性は、産科合併症のリスクが上昇した。子宮内膜症によって、早産と前期破水のリスクが上昇し、ART妊娠例でなくとも前置胎盤のリスクが上昇した。ART妊娠でない女性が子宮腺筋症の既往歴をもつ場合、早産と前期破水の他に常位胎盤早期剥離と胎児発育不全のリスクが上昇した。

考察:(研究の限界を含める)

子宮内膜症と子宮腺筋症の既往歴をもつ女性は産科合併症が増加することが示された。ART妊娠でない女性は、子宮内膜症によって前置胎盤が増加し、子宮腺筋症により常位胎盤早期剥離と胎児発育不全のリスクが上昇する。今回の研究は、参加者が子宮内膜症および子宮腺筋症の既往について質問調査表に記載したデータを利用した。手術後の病理組織検査による確定診断はされていない。

結論:

子宮内膜症と子宮腺筋症の既往歴をもつ女性は、産科合併症のリスクが上昇し前期破水と早産が多いことが示された。子宮内膜症は、ART妊娠例でなくとも前置胎盤を増加させることが示された。またART妊娠でない女性が子宮腺筋症の既往歴をもつ場合、常位胎盤早期剥離と胎児発育不全が増加した。